

# 日本技術士会中国本部

## 創立50周年を盛大に祝う

### 大田本部長「社会に存在意義を示す」

(公社)日本技術士会中国本部(大田一夫本部長)は1日、広島市中区の市文化交流会館で創立50周年記念式典を開催した。来賓として斉藤鉄夫衆議院議員、湯崎英彦広島県知事、丸山隆英中国地方整備局長らが出席。節目の年を盛大に祝うとともに、技術士の地位向上に向けて展開する社会貢献活動等に大きな期待が寄せられた。

冒頭、大田本部長は、「これまでの歩みや分岐点とも言える平成12年の技術士法改正などにふれ、「この半世紀の活動は、



式典の様子

大に祝うとともに、技術士の地位向上に向けて展開する社会貢献活動等に大きな期待が寄せられた。冒頭、大田本部長は、「これまでの歩みや分岐点とも言える平成12年の技術士法改正などにふれ、「この半世紀の活動は、

会員の研鑽や交流といった「内向き」の活動が中心であり、技術士の地位向上には残念ながら程遠い状況だった。今後は、産官学と連携した防災支援、教育支援、中小企業支援等の社会貢献活動や、産官学並びに社会への情報発信といった「外向き」の活動に力点を置いて、技術士の存在意義を社会に示していくと式辞。

来賓祝辞では、斉藤衆議院議員、湯崎広島県知事、丸山中国地方整備局長のほか、仲家修一中国四国農政局長、畑野浩朗中国経済産業局長、佐野庸治広島大学大学院工学研究院長、吉田克己(公益)日本技術士会会長がそれぞれ激励の言葉やお祝いの言葉を述べた。その中で斉藤衆議院議員は「これからは技術士が日本の発展を支えていく」と敬意を表し、丸山中国地方整備局長は「様々な

課題解決には、専門技術を駆使し、先導的な役割を果たしている技術士の知識経験と分野横断的な視点、人材ネットワークが重要なこと述べ、技術士の今後のさらなる活躍に大きな期待を寄せた。

このほか、50周年記念式典に関連し、阪田憲次岡山大学名誉教授による『インフラを取り巻く諸課題と展望』をテーマにした記念講演会や祝賀会なども催された。

### 建設部会の設立記念例会も開催

同日は記念式典に先立ち、同所で中国本部建設部会設立記念例会も催された。



挨拶に立った建設部会の森山利夫部会長(写真)は「インフラの老朽化や自然災害の激甚化などをふまえ、我われ技術士の果たすべき役割は大きなものがある。この部会を通じて、皆さんのための

情報交換の場や研鑽の場など、いろんな場を設定していきたいと述べた。

また、大田本部長は挨拶で「他協会と連携した積極的な活動」を要請するとともに、「国・県・市などに対して技術士の活用をお願いできる組織になれば」と思っている」と話した。

議事では、建設部会の設立趣旨や実施方針、初年度にあたる27年度の事業計画(現場見学会の開催など)の説明が行われた。

建設部会の会員総数は446人(5月末現在)。

当面の活動テーマは①技術士の地位向上②土木技術の伝承と教育③国土強靱化と防災④インフラ設備等の品質確保・向上方策⑤地域貢献・地域創生⑥の5項目。安全で元気な地域づくりと技術士の活躍の場を広げることを目的として活動していく。

なお、部会長は森山利夫氏(㈱シー・ケイ・テック)、副部会長は島田淳次氏(㈱荒谷建設コンサルタンツ)、佛原肇氏(中電技術コンサルタンツ)、川端誠氏(㈱福山コンサルタンツ)、田村隆弘氏(徳山工業高等専門学校)が務める。